

2017年、2018年度の マクロ経済見通し

三菱UFJモルガン・スタンレー証券チーフエコノミスト 佐治信行



- *世界を圧倒する米国ビジネス界の変化
- *人手不足なのになぜ賃金は上がらないか
- *アディダスは無人工場で靴をつくる
- *なぜ若者の消費性向は低いのか
- *対外債務が急増する新興国
- *ASEAN諸国の弱点は何か
- *鉄鋼産業の有無がポイントに
- *中国の債務償還スケジュールは要注意
- *2019年以降、世界はリセッション入りか
- *競争回避が日本の劣化を生んでいる

柴生田 それでは聞かいたします。（拍手）

今日は毎年この時期に来ていただいております佐治さんに来ていただきました。世界経済の問題は今はメディア等では注目度が低くなっていますが、さまざまな問題を抱えながら世界は大きく動いているということで、佐治さんからはいつもユニークな視点からわれわれの目を開かせるようなお話を聞いていただいています。つい最近も北米、南米へ行かれ、これから中国へ行かれるということで、忙しいところを縫つて、今日は世界のマクロ経済の動向についてお話をいただきたいと思います。

それでは佐治さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

世界を圧倒する米国ビジネス界の変化

佐治 ただいま紹介にあずかりました三菱UFJモルガン・スタンレー証券の佐治でござります。1時間少しばかりお付き合いいただくという格好で進めさせていただこうと思います。

今司会者の方から紹介いただきましたように、先週まで3週間ぐらい海外に滞在しております。日本株を中心に日本に投資している投資家と2週間ほど、毎日5件から6件ぐらいミーティングをやって、日本の経済を解説したり、投資家が持っている疑問点に答えてきました。私は北米で年に2回2週間ずつ4週間やって、ヨーロッパではロンドンから大陸のほうにかけて、これも年2回2週間ずつ4週間やっています。